

授業科目名	介護過程 I	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	柴田 博	開講期	2年前期	単位数 2

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を行う課題解決の思考過程を学ぶ。これまで学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスを提供できる能力を養う学習とする。「介護過程」は、利用者を主体とする生活支援活動の展開方法であり、利用者理解を図りながら、情報収集、その分析・解釈、計画の立案、実施・評価等の基本的なことを学ぶ。

【到達目標】

- 1) 介護過程の意義と基礎を理解する。
- 2) 介護過程の一連のプロセスを理解する。

【授業計画と内容】

- 第 1 回 介護過程の意義と目的
- 第 2 回 展開の基本視点
- 第 3 回 生活支援の考え方と介護過程の必要性
- 第 4 回 介護過程の全体像
- 第 5 回 アセスメント捉え方
- 第 6 回 情報の収集
- 第 7 回 情報の解釈・関連づけ・統合化
- 第 8 回 生活支援の課題・目標の捉え方
- 第 9 回 個別援助計画とは
- 第 10 回 目標の設定
- 第 11 回 具体的な支援内容・方法の決定
- 第 12 回 実施状況の把握、実施の記録
- 第 13 回 評価の意義と目的
- 第 14 回 評価の内容・方法・留意点
- 第 15 回 個別援助計画の立案

【授業実施方法】 講義

【授業準備】 あらかじめ教科書によく目を通しておくこと。

【主な関連する科目】 「介護総合演習」

【教科書等】 介護福祉士養成講座編集委員会編『第9巻 介護過程』中央法規出版

【参考文献】 必要時に資料を配布

【成績評価方法】 レポート内容 100%

【学生へのメッセージ】 どのような支援が求められるのかを思考して欲しい。